

和太鼓の迫力に震える心



12月16日(火)に笠郷小学校にて芸術鑑賞会が開催され、大垣西高等学校和太鼓部による演奏が披露されました。児童たちは和太鼓の演奏を鑑賞するとともに、太鼓を叩く体験や太鼓に合わせて手拍子でリズムを取ることで、楽しみながら日本の伝統的な和楽器やリズム感への理解を深めました。また、楽しむだけでなく、敬意を持って鑑賞することで、エチケットや社会性、公共性を身に付ける機会となりました。

児童たちは「太鼓の音はとても迫力があり、力強く身体に響いてきて、感動しました。今日の演奏や体験は忘れられない思い出になりました」と部員に対してお礼を述べ、迫力満点の演奏に大興奮でした。

古くからある魅力×新しい魅力



養老町の魅力を発信し、地域の活性化に繋げるため、愛知芸術高等専修学校の美容師コースの生徒らが取り組んだまちおこしプロジェクト「まちワク計画 養老」の成果を報告するため、12月18日(木)に川地憲元町長を訪問しました。

養老町が持つ「古くからある魅力」と美容を学ぶ高校生が生み出す「新しい魅力」を若い視点で表現するため、養老町への理解を深め、向き合うとともに、日頃学んでいる知識を生かし、ヘアメイクやモデル、カメラなどを自分たちで担当し、構成を練ってポスターを制作しました。いただいたポスターは町役場や養老公園において、来庁した皆さまにご覧いただけるよう掲示いたします。

見て聞いて知る“やくばのしごと”



12月4日(木)に養老こども園の5歳児が町役場に来庁し、行政の役割や仕事について学びました。園児たちは町職員に案内されながら、町役場庁舎の1階から4階までの各課を見学し、それぞれの課がどういった仕事をしているところなのか説明を受けました。窓口での接客や事務作業をしている様子を実際に見て回ると「今はなにをしているの?」「仕事に使う道具にはどんなものがあるの?」などの質問があり、興味津々でした。また、町政の方針が決定される議場の見学では、実際に椅子に座って厳かな雰囲気味わいました。

また、園児たちから感謝の気持ちとして令和8年のカレンダーが贈られましたので、町役場に掲示して利用させていただきます。

教えて! サンタさん



12月22日(月)に養北こども園で開催されたクリスマス会にサンタクロースに扮した川地憲元町長が参加し、園児たちと交流しました。サンタクロースを歓迎するため、園児たちにより歌やダンス、ペープサート劇が披露され、そのお礼として園児一人ひとりに対して声をかけながらプレゼントが手渡されました。園児たちはサンタクロースが普段どのような生活をしているのか、とても気になるようで「サンタさんは冬以外には、どんな仕事をしているんですか?」「どんなおうちに住んで、どんなものをたべているんですか?」「手紙を書いて窓に貼っておいたのですが、読んでくれましたか?いつ読んでくれているのですか?」などの質問がありました。